

5月29日 ヨハネによる福音書17章1～13節 今日の説教から

説教題：「昇天のイエス様と私たち」

意外なことに、福音書の中ではあまりイエス様は「祈っていない」ように見えます。実際はそうではないのですが、イエス様が祈りをささげる場面はあまり描かれていません。それは、ほとんどの場合イエス様が山や人里離れた場所に行って一人で祈るために、福音書記者がその祈りの内容を聞いていないからなのでしょう。

ただ、今日の聖書箇所だけは例外的に、イエス様は弟子たちの前で、多くの言葉をもって神様に対して祈りを捧げています。ついに自分が逮捕されて、十字架につく時が来たということを神様に報告し、「あなたの栄光を現す」という、十字架における神様の贖いの業が確かにこの世に起きることを望んでいます。永遠の命が人間に与えられるためにこれまでの地上での働きがあったことを思い返しなが、十字架という栄光を確かに受け取る決意を固めています。

律法を守るユダヤ人からイエス様に従うキリスト者へと人々が変えられていく中で、自分が十字架によってこの世を去り、彼ら弟子たちはこの世に残されることとなります。自分がいた時は間違った教えや偽預言者から弟子たちを守ることが出来ました。しかし、十字架にかかり死んでしまった後は、また復活の後昇天した後はイエス様自ら弟子たちを守ることは出来ません。だからこそ神様に対して、「弟子たちを守ってください」「彼らが信仰によって一つとなる事が出来るように」と祈っています。そして続く個所では、「彼らのために、わたしは自分自身をささげます。彼らも、真理によってささげられた者となるためです。また、彼らのためだけでなく、彼らの言葉によってわたしを信じる人々のためにも、お願いします」と、弟子たちが初代教会を作り上げ、その後広まっていく御言葉によってより多くの人々に神様の栄光が現わされることを祈っています。自分の為ではなく、神様の栄光のために、弟子たちの信仰のために、そしてまだ御言葉が届いていない多くの人々の救いのために、イエス様は言葉を尽くして神様に祈りを捧げています。

このように、今日の聖書箇所ではこれまで秘められていたイエス様の祈りが記されています。ここには、神様に対する確かな信頼と共に、弟子たちに対する深い愛の思いが示されています。自分がこれから祭司長たちに逮捕されて、十字架にかけられることを理解していたイエス様は、弟子たちに全てを伝えるためにこの祈りのすべてを聞かせたのでしょう。そして、イエス様は何よりも「祈りが聞き届けられる」ことを弟子たちに知ってほしかったのではないのでしょうか。

いま、私たちの主であるイエス様は使徒信条で唱えられるように、天の国で神様の右に座しています。それは、私たちがイエス様の御名によって願ったすべての事が、イエス様を通じて神様へと伝えられるためなのです。天の国で私たちの祈りをとりなしてくれているその昇天のイエス様によって、私たちは「私たちの願いは届く」「私たちの祈りはかなえられる」という大きな希望を抱くことが出来ています。イエス様の昇天によって私たちにもたらされたものは、いつか私たちが天へと招き入れられて、素晴らしい世界で神様に会えるという希望であり、同時に私たちが祈りによってこの地上をより素晴らしいものにすることが出来るという希望でもあります。私たち一人一人の力は大きいものではありませんが、神様は確かに私たちの祈りを聞き入れて、この世界に豊かに働きかけてくれるのです。

私たちの祈りは確かに聞き入れられる、その希望を胸に、今週一週間の、これからの歩みを共に進めていきましょう。

今日の説教箇所：ヨハネによる福音書 17 章 1～13 節

- 1: イエスはこれらのことを話してから、天を仰いで言われた。「父よ、時が来ました。あなたの子があなたの栄光を現すようになるために、子に栄光を与えてください。あなたは子にすべての人を支配する権能をお与えになりました。そのために、子はあなたからゆだねられた人すべてに、永遠の命を与えることができます。永遠の命とは、唯一のまことの神であられるあなたと、あなたのお遣わしになったイエス・キリストを知ることです。わたしは、行うようにとあなたが与えてくださった業を成し遂げて、地上であなたの栄光を現しました。父よ、今、御前でわたしに栄光を与えてください。世界が造られる前に、わたしがみもとで持っていたあの栄光を。
- 6: 世から選び出してわたしに与えてくださった人々に、わたしは御名を現しました。彼らはあなたのものでしたが、あなたはわたしに与えてくださいました。彼らは、御言葉を守りました。わたしに与えてくださったものはみな、あなたからのものであることを、今、彼らは知っています。なぜなら、わたしはあなたから受けた言葉を彼らに伝え、彼らはそれを受け入れて、わたしがみもとから出て来たことを本当に知り、あなたがわたしをお遣わしになったことを信じたからです。彼らのためにお願いします。世のためではなく、わたしに与えてくださった人々のためにお願いします。彼らはあなたのもものだからです。わたしのものはすべてあなたのももの、あなたのもものはわたしのものです。わたしは彼らによって栄光を受けました。わたしは、もはや世にはいません。彼らは世に残りますが、わたしはみもとに参ります。聖なる父よ、わたしに与えてくださった御名によって彼らを守ってください。わたしたちのように、彼らも一つとなるためです。わたしは彼らと一緒にいる間、あなたが与えてくださった御名によって彼らを守りました。わたしが保護したので、滅びの子のほかは、だれも滅びませんでした。聖書が実現するためです。しかし、今、わたしはみもとに参ります。世にいる間に、これらのことを語るのは、わたしの喜びが彼らの内に満ちあふれるようになるためです。